

今週のモーニングセミナー報告

令和4年9月14日(水)の講話 <第909回>

テーマ：夫婦の一致和合と企業の安定繁栄

講師：(一社)倫理研究所 法人局 法人スーパーバイザー 松熊 秀樹 様

昌山さんからご招待いただき今日があります。1) 自己紹介：工務店勤務の後、父が経営している設備会社に入社。2代目。3人兄弟の長男。奥様も会社を手伝っている。二人(長女・次女)の子供。母との同居。

中西浩本部長のインタビューより。<「企業に倫理を、職場に心を、家庭に愛を」この「家庭に愛を」を徹底してゆく。家庭は経営者にとって大切な世界です。家庭がおろそかでは、企業の経営にも影響が出てきます。…良い夫・良い父親が良い経営者とは言えないけれど、理想として全部がそろうことが良い経営者の第一歩と考えてもらいたい>。 家庭の事で学びがある会が他にあるのでしょうか?に始まる30周年の記事。レジメの資料も満載。先ほどの中西本部長の記事(6ページ)『夫婦の一致和合と企業の安定繁栄』(6ページ) 2) 事業を支える家庭：生命養育源泉所。 総合的な憩いの場。 教育の根拠地。 3) 夫婦の和合一致と企業の安定繁栄： 家庭の安定が企業の安定発展。 家庭安定の要は夫婦関係にあり。 夫婦は互いに向かい合った反射鏡(葉5条47頁～) 和合の秘訣。 新経営倫理学 丸山竹秋 著 家庭不和が倒産の原因。入社当時、叔父が会社の番頭、松熊工業の体制を整えようとしたが、皆さんハイと言ってくれない。反抗される、口もきいてくれない。家庭も会社も上手くいかない。8人中6人までが退社。赤字がスタートでした。4) 夫の倫理 妻の倫理：a) 任せた家の事は妻に任せきり深い信頼と同館をもって妻と心をつなげる。b) 妻については露(つゆ)ばかりも不平不満を思わない。c) 妻の心中をよく聞いてあげる。d) 妻にいらぬ差し出口をしない。e) 転職に向かって、ただまっしぐらにわき目も振らずに努力する。最後まで夫婦和合のポイントをご説明いただき、耳の痛い言葉の連続でしたが納得のいくご講話でした。

担当者：赤山 芳隆

今は妻と母と3人で同居している。だいぶ慣れてきました。家庭は経営者にとって大切な世界です。家庭がおろそかでは企業の経営にも影響は出てきます。ここをはっきり言うところが倫理法人会と他団体の違いです。家庭がしっかりしていても事業・商売がダメな人もいます。私も倫理法人会に入会して11年たちますが家庭を大切にするようにしています。経営、業務のことも妻に相談したりもします。倫理法人会では家庭がうまくいっていないと仕事どころではなくなってしまうという話をされます。松熊スーパーバイザーのような素晴らしい人で倫理法人会の基本の部分、家庭を大切にしているのだと改めて思いました。私も家庭を大切にしていきたいと改めて思いました。今日は講話ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは9月21日(水)朝6:00~7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「だけじゃない片付けの力」と題しましてお片付けの学び場。代表 上原千鶴様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 17社 17名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001
メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp